

鉄道に沿った左側である鉄車線を暫く歩く。8時11分、薄日であった。孫がお世話になっている関係で、わかげ保育園に目にとまる。8時29分、12号線に合流する。8時32分、広大な敷地をもつ酪農学園大学前を通過。この大学には附属動物病院もあった。数頭の乳牛がゆったりした牧場で横たわっていた。



酪農学園大学 大麻駅

この大学は、本日と明日にかけ、学園祭（白樺祭）があるとのことであった。それ故、校内から音楽が聞こえてくると同時に、車通学の学生の姿を何台も見かける。流石北海道である。8時52分、本日の最初の大麻駅に到着する。9時2分、札幌学院大学看板前を通過。9時12分、高台から札幌市内の高層ビルが見えて来る。工事中の車を誘導している方（女性）に森林公園駅をお伺いする。わざわざ50m位足を運び教えて頂く。数日前の塩狩峠の近くでも親切な車を誘導する女性に直面した。感謝の気持ちで一杯となる。前方微かに見える500m位先の交差点を右折すれば行けるとのことであった。9時35分、森林公園駅に到着する。国道12号線から500m位斜めに戻った先に駅があった。この駅も住宅等の陰に隠れて駅舎は、国道から見えず。9時38分、グリーンが印象的な厚別もえぎ保育園前を通過。



森林公園駅

9時39分、厚別東駅前公園前を通過。かつて北海道に勤務された内藤さんのお話によると、北海道には別れがつく地名が多いとのことであった。これは、アイヌ語に由来すること。江別、士別、紋別などなど……。9時46分、68歩ある小野幌橋（小野幌橋）を通過する。近くに札幌駅で食べたラーメン屋と同じチェーン店のサッポロラーメン「味の時計台」があった。この近郊で斜めに入る道路があったので、少しでも鉄道に近づいた

めに路線変更する。結果的に正解であった。今回のシリーズ殆ど地図を持たずに歩いている関係で、何人もの通行人に聞きながら進む。10時3分、104歩ある水恋橋（野津幌川）を渡る。10時6分、右手に野津幌川緑地の遊歩道があった。10時7分、札幌わんぱく館があった。10時20分、やっと厚別駅に到着する。ここから4.4m先の白石駅の踏破に苦勞する。線路に沿って、物流を運搬する施設が広大にあったからだ。その中に、日本通運やセブンイレブン等の基地もあった。それ故、複雑な道路を歩くことを余儀なくされる。



野津幌川緑地 厚別駅

10時30分、新千歳空港線下を潜る。段々と線路から離れて行く。10時35分、59歩ある厚別東橋（三里川）を渡る。10時42分、物流センターや運送基地のど真ん中を通過。10時44分、107歩ある繁昌橋（厚別川）を渡る。10時57分、国道12号線に戻る。11時5分、道央自動車道下を潜る。正解は直進して行くべきであったが、鉄道に少しでも近づこうとして、迷子になりかける。誤った道筋にあった白石かがやき園前を11時12分通過。その先に中央バス平和通17のバス停があった。その先に再度高速道路下を潜った先に平和通16北交差点がある。この近くで白石駅の道筋を尋ねるが、「この路を直進しても行けない」とのことであった。何となく原点に戻るのが得策との判断を数人の通行人の方に聞いて判明する。重いリュックを背負ってジョギングする。11時25分原点に戻る。20分位時間をロスする。11時30分、38歩ある月寒川を渡る。何人もの人に聞きながら進む。キーワードは、「平和通3南交差点」または「Big House」であった。現在の交差点は平和通11であった。カウントダウンしながら進む。なお、「平和通3南交差点」は年配の女性から、「Big House」は若い男性からご教示頂いた情報。



月寒川 白石駅

目標の交差点には 11 時 58 分到着。この交差点はご教示頂いたような風景であり、白石駅への案内もあった、12 時、右往左往しながらやっとのことで白石駅に到着する。長嶋さんから昨日お伺いした「白石駅の踏破は難しいかも」という言葉を思い出す。12 時 10 分、JR 線左側を歩く。12 時 28 分、お湿り程度の雨を感じる。その先でリュックに門口さんから頂戴した雨具をかける。そして傘をさす。12 時 34 分、大通に出たところで本格的な雨となる。12 時 41 分、苗穂（なえぼ）という地名に出くわす。12 時 48 分、336 歩ある平和大橋を渡る。この道路に沿って鉄道が続く。12 時 55 分、雨があがる。13 時 1 分、苗穂駅に到着。ここから札幌の市街となる。黄色いリュックは目立つが乾かす意味から札幌駅までしまわず臨む。北 3 条通をひたすら歩く。



平和大橋

苗穂駅

13 時 38 分、JR 線に沿ってフコク生命ビルや 14 階建ての東横インを目にする。まもなく終点の札幌駅に到着である。13 時 41 分、お洒落な札幌全日空ホテル前を通過。13 時 45 分、札幌駅南口に到着する。雨具をしまい、14 時 10 分発の快速エクスポート 140 号で新千歳空港駅を目指す。駅には 14 時 40 分頃到着。長嶋さんに教えて頂いた 4 階にある新千歳空港温泉で 30 分位湯船につかる。



フコク生命ビル

札幌駅

温泉の中で藤沢出身の方とご一緒になる。この方は、4 泊 5 日で船の旅を息子さん夫婦と一緒に 4 名でやってきたとのこと。横浜出発でブザンや小樽にも立ち寄ったとのことであった。私に声をかけてくれたきっかけは、手と顔が真っ黒に日焼けしていたかららしい。この季節スキーでもないし、山でもないと察知。それで不思議に思い声をかけてくれたとのことであった。私の「こだわり鉄道つたい歩き」やウェブサイト「カッシー館」について PR させて頂く。本日は、小樽からここまで来られたとのことであった。そして、17 時過

ぎに飛行機で羽田に向かうとのことであった。正に「旅は道づれ世は情け」を強く感じた。このあとサウナに行き、温泉を15時45分頃出て、同じフロアにある「憩い処」で16時50分位まで、そば鮭定食をつまみにして、生ビールと芋焼酎を頂く。そして、最後はソフトクリームでしめる。かれこれ温泉で2時間位、ゆったりした気分で、旅の疲れを癒す。温泉で時間を潰しても、まだ2時間位の余裕があった。本日2回目の北海道名産のソフトクリームを頂く。白い恋人のお土産を買い、新千歳19時15分発のSKY726便で羽田へ。羽田には20時55分到着。帰りは不思議に耳の調子はすぐ正常に戻った。羽田から京急で。運よく、横浜まで快速で逗子行きの直通に乗ることができる。自宅には、22時45分到着。本日の営業キロは17.9km、万歩計は38,308歩となり、大過なく北海道旅行が終了する。



新千歳空港温泉



それにしても、こんなにうまく予定よりも長く歩くことができるとは。これも天の恵みに加え、長嶋さんの下見調査のお蔭で、うまく功を奏した。また、当社の北海道住まいの経験者にしつこく聞いて勉強したのがよかった。今回の和寒から小樽までの営業キロ206.9kmの踏破と札幌での2回の懇親会を持つプランを想定した場合、今回の旅プランに勝るプランはないだろう。自分でもいいプランを推敲に推敲を重ねて考えたものだ。正に、最適なプランだった。自分を大いに褒めてあげたい。今回の旅行は、北海道の雄大な大地を会得しただけではなく、自分が稚内から鹿児島までの踏破に加え、47都道府県の鉄道を歩

く伏線ができた。新しい帽子に、「全国鉄道つたい歩き／カッシー館」を印字し、自分にも戒めた。それが、今回うまく行った要因にもつながったような気がする。財布は約15万円と相当厳しかったが、稚内から鹿児島までがおぼろげながら見えてきた錯覚もした。今回、カッシー館に初めて写真入りでブログの投稿ができ、今まで以上にインパクトが強かったような気がする。うまく行けば、北海道2クール、東北地方1クール、そして九州1クルールの合計4クールで、頑張れば稚内＝鹿児島がクリアできるかも知れないという夢が確立した。これも天の恵みが条件付であるが。意義ある7泊8日の北海道旅行であった。岡田さんや安次富さんに加え、母親や家内に札幌から絵葉書を出すことができ、正に名実ともに価値ある旅行であった。



新千歳空港

長嶋氏からお土産を頂戴する

